



2021年10月29日

各 位

会 社 名 株式会社スペースシャワーネットワーク  
 代表者名 代表取締役社長 林 吉人  
 ( J A S D A Q ・ コード 4 8 3 8 )  
 問合せ先 取締役 北島 直樹  
 電 話 0 3 - 3 5 8 5 - 3 2 4 2

## 2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、直近の業績動向を踏まえ、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異について

(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円 百万円未満切捨て)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前 回 予 想 ( A )	6,965	△65	108	79	円 銭 6.97
実 績 値 ( B )	6,472	△32	226	174	15.44
増 減 額 ( B - A )	△493	32	117	95	—
増 減 率	△7.1%	—	108.5%	121.5%	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	5,554	△244	△134	△174	△15.40

2. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

（単位：百万円 百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	14,236	10	400	300	円 銭 26.48
今回修正予想（B）	13,728	△198	400	300	26.48
増減額（B－A）	△508	△209	0	0	－
増減率	△3.6%	－	0%	0%	－
（参考）前期実績 （2021年3月期）	11,763	△453	△202	△210	△18.61

3. 差異および修正の理由

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想につきましては、期初の段階において、新型コロナウイルス感染症による影響があるものの、徐々に収束し、段階的に事業環境が改善に向かうという前提のもとで算定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルス「デルタ株」による感染の再拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間におよぶなど、当初の想定以上に厳しい事業環境が続きました。

このような状況のなか、2022年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、当社主催の野外音楽フェス「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2021」の開催中止や、コンセプトカフェにおける行政からの営業時間短縮要請の継続など、リアルな集客を伴う事業においては、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響を大きく受けました。一方で、成長の持続する音楽配信事業や受注回復傾向の見られた映像制作事業が好調に推移したこと、また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、番組コンテンツ化を予定していた各種のライブコンサートや音楽フェスが軒並み中止、延期となった事により、当初、第2四半期連結累計期間にて使用予定であった有料放送事業のコンテンツ制作費の一部について、第3四半期連結累計期間以降にて使用する計画へ変更したことで、収益を押し上げる結果となりました。加えて、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が長期化したことに伴い、雇用調整助成金等の各種助成金収入が増加いたしました。以上の結果、2022年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は当初の予想を下回ったものの、営業利益及び経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当初の予想を上回る結果となりました。

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績を受け、売上高は当初予想を下回る見込みとなりました。また、第2四半期連結累計期間にて使用予定の有料放送事業のコンテンツ制作費の一部を第3四半期連結累計期間以降に使用することや、映像配信サービスの開始に遅れが発生したこと、さらに、コンセプトカフェにおいて、営業時間短縮要請解除後も、集客の正常化までにはしばらく時間がかかる見込みであることなど、第3四半期連結累計期間以降に収益減少要因があることから、営業利益につきましても、当初予想を下回る見込みとなりました。一方で、雇用調整助成金等、各種助成金収入の増加が見込まれることから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当初の予想数値を据え置くことといたします。

なお、2022年3月期の配当予想につきましても、当初の予想数値を据え置くことといたします。

※上記の業績予想は、本資料発表時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。